



盆踊りの融合進化が 楽しい

心
あ
っ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

福岡の天神夏祭りでの、盆踊りは、選曲が楽しいようで、炭坑節の他に、一休さん、ダンシングヒーローで踊るようです。関東の総持寺でも、お坊さんと一緒に踊る一休さんが楽しいです。愛してるの音楽のあと、愛していると踊る人たちもハートを手で作って、叫びます。ジャンプしたり、とても忙しい盆踊りですが、楽しいので、多くの人がきます。ダンシングヒーローの発祥は愛知で、愛知から、浸透してきたようです。ユーチューブで、振り付けを見ているだけでも、楽しくなって、元気になるってきます。東京の中野駅前大盆踊り大会で、DJのCeilyさんが、踊っていない人たちでも楽しめるようにと、誰もが一度は聴いたことがある名曲「リヴィン・オン・ア・プレイヤ」をかけて、鹿児島民謡の代表格でもある「鹿児島おはら節」の振り付けで踊れるところまで踊ってみようと曲に合わせたら、とても盛り上がり、Xで拡散され、なんと本家の

ボンジョビから、とてもクールだねという投稿があつたそうです。ボンジョビが、盆ジョヴィと親しまれているとか。公式に「ボンジョヴィです。リヴィン・オン・ア・プレイヤ」が中野駅前大盆踊り大会で、長年愛されいると聞いて、とてもうれしいよ。今年の夏もこの曲で踊って楽しんでね」という投稿もあつたそうです。会場では「Living on a Prayer」の大合唱で盛り上がっているそうです。世界的スーパースターのボンジョヴィの対応もかっこよすぎますが、盆踊りを盆ジョヴィとして、楽しめる日本人の明るさもうれしくなります。アニメの曲も、ロックも、融合させて、楽しく取りこんでしまふ。日本人のこの習性を知っていました。が、今まじまじとそれを見て、感じる感じがします。もともと、盆踊りは、帰ってきた先祖の霊を慰める踊り、仏教的な念仏踊りから始まったものとか。ご先祖さんも、笑顔で楽しんでいる子孫を見たら、すごく安心してくれると思いますね。

夏の風物詩ホタルの科学

約1億年前のホタルは「深緑色」に光っていたと推定されると、中部

大(愛知県)や長浜バイオ大(滋賀県大)などの研究チームが発表した。現生のホタルが持つ発光酵素「ルシフェラーゼ」をもとに、当時の発光酵素を「復元」したという。突われた過去の光景をカラフルに復元できた」と説明している。さらに研究を進めると、ホタルの発光の進化を解き明かすことができるかもしれないということです。

朝日新聞より)

編集後記

夏の盆踊りは、ユーチューブを見ているだけで、気分が上がりてきます。たくさんの人と踊るパワーはすごいです。夏の風物詩のホタルのニュースを調べていて一億年前、ホタルの深い緑の光が、舞っていたことを、想像すると、ファンタジーの世界のようだと思います。調べていて、ホタル復活を取り組む自治体が増えていると感じました。きれいな水が必要なことから、自然環境のパロメーターのようです。日本の夏は、暑いだけでなく、素敵だと思いました。